

社会的共通資本研究会

講師： 東洋大学 根本祐二 教授

演題： 「省インフラ」を成長戦略に—社会資本老朽化の現実と展望—

日時： 2013年6月27日(木) 14:00-16:00

[要旨]

日本の公共施設・インフラは戦後の高度成長経済と共に1970年前後に集中的に建設され、これから本格的な更新時期を迎えつつある。これらは、現在40年程度が経過しており、2020年をピークに一斉に老朽化すると考えられている。

すでに老朽化を原因とした崩壊事故は、笹子トンネル事故前後に起こり始め、今後老朽化を見逃すことは法的に罪に問われる可能性もあり、喫緊の問題といえる。

しかし近年、公共投資の予算は、高齢化問題や社会保障費の増加のため大幅に圧縮され、国債に頼ることにも限界がある。今ある公共施設・インフラを維持・更新する予算がないのが現状である。また減少傾向にある日本の人口は70年後には現在の約半数になると予測され、公共施設のコストを賄うことは不可能だ。減少していく人口を見据え将来のマーケット規模をみて適正な公共投資を行わなくてはならない。

現在ある社会資本は、そのまま更新するだけで、年間8.1兆円の投資を約50年間続けなければならない。8.1兆円の内訳は、聖域と言われる道路等のインフラや学校や公営住宅等が8割をしめ、各自治体に将来費用について適正に理解してもらうことが必要である。東洋大学では2010年に将来更新投資計算ソフトを開発し、無償公開した。これは自治体や町内会単位でも利用できるものである。各自治体の試算を行ってみると、予算確保可能率は深刻なレベルであり、危機感を持ち直ちに検討に着手し始める自治体も現れはじめている。

以上のインフラ更新投資問題から次の対策を提案する。

まず公共施設については、利用者の範囲により3層に分割する3階層マネジメントを提示する。哲学を転換して機能の維持に絞ることを考える。1層：広域連携にすること。庁舎・病院・中央図書館・文化ホール等是一个の自治体に各施設をそろえるワンセット主義で考えられてきたが、これを止めて他市と共有（広域化）する。2層：校区レベルの施設は多機能化する。学校や児童館・幼稚園や保育園などは更新の際に将来用途転換が容易な多機能施設にして、周辺施設を取り込む。3層：住区レベルの施設はソフトを活用した対応を図る。集会所や公営住宅などの利用者の範囲が小さな施設については民間施設を利用して費用負担し、公営住宅などは建て替えず民間住宅等への家賃補助に切り替える。これら3階層マネジメントの実施により広域化に伴う多少の不便は甘受せざるを得ないが、土地や建物に余剰が生じPRE（公的不動産活用）が可能となる。さらにこれらの施策の実施により自治体の負担は約3割の削減が可能と推計され、ま

た機能はそのまま維持される。

道路・橋りょう・トンネル・水道・下水道などのインフラについては、予防保全マネジメントが有効となる。具体的には事後保全費用を予防保全費用に切り替え長寿命化を図り LCC（ライフサイクルコスト）を下げる。予防は常時行うため民間化（委託、指定管理、PFI など）し、包括化・長期化により民にとっての動機付けを図る。

アクション・マネジメント／民間提案により、今まで問題であった官の決定権、官の縦割りなどを避けるため、民間の自由な提案を採用する。すでに提案型公共サービス民営化制度を実施している自治体もあり大幅な経費の削減に寄与している。

コンセンサスマネジメント／市民合意においては、例えば公共施設の必要性を問う場合、従来は反対市民の意見ばかりが反映されていた。これを無作為抽出による市民の意見を適正なデータで示し、幅広い意見を聴取し、かつ対象費用対効果をデータで提示し市民合意を得る。

かつて日本はエネルギーショックを乗り越え、省エネに関する技術進歩により経済を成長させた。上に述べた包括的な対策は、インフラ需給の構造変化（老朽化、倒壊リスク、人口減少）の危機を乗り越えるため、機能は保持しながらインフラの全体的な圧縮を行い、インフラの原単位を下げる努力を企業セクターが担う省インフラだ。

省インフラにはコンパクト化、分散処理、配達、長（短）寿命化、バーチャル化・ソフト化などの類型がある。省インフラ技術には、路面インフラなどの陥没予防調査を行うジオサーチ社のスケルカーや多機能施設に有効な NEC の不審者追求システム、また過疎地域などには民間を活用した移動サービスなどもすでに利用されており、今後様々な省インフラの技術開発が提案されるだろう。

歴史を振り返れば、日本には寺小屋という宗教、教育、宿泊施設も兼ねた究極の多機能施設があった。日本の省エネで蓄積した知恵や知見を乗り越えて、新たな省インフラに向けた様々な知恵や技術開発を成長戦略の一つとすることは可能であろう。

以 上